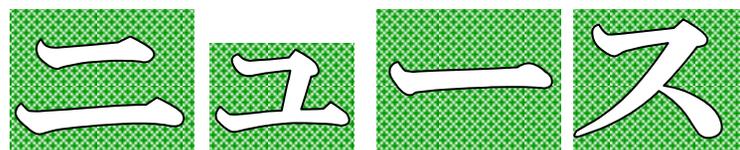


JR東労組

本部OB会



東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

No.249 2017年11月発行

【第48回衆議院議員選挙】

改憲勢力が80%越えに

「排除」の希望大失速、「護憲」の立民が野党第1党に

衆院選党派別当選者数 (定数 465)

	合計 (女性)	公示前	小選挙区	比例代表
自民	281 (20)	290	215	66
立憲	54 (12)	16	17	37
希望	50 (2)	57	18	32
公明	29 (4)	35	8	21
共産	12 (3)	21	1	11
維新	11 (1)	14	3	8
社民	2	2	1	1
無所属	25 (5)	37	26	0
	465 (47)	472 (-3)	289	176

民進内の闘いは

「選挙体制」を巡る野党の大混乱の中で実施された第48回衆議院議員選挙は、自公で2/3の議席を守り、これに他の改憲勢力を加えると80%以上の議席を得る大勢力となりました。これによって、安倍政権が公約で掲げた「憲法改悪」の動きが加速される事象となりました。

その様な中で、小池都知事の希望の党から「選別・排除」されて急遽結成した枝野代表の立憲民主党が、15議席から54議席へと大躍進し、政権批判票や護憲勢力の大きな受け皿となりました。

安倍一強の長期政権打破を目指して闘ったにも関わらず、選挙結果は、野党の乱立によって安倍批判票は分散し、与党の圧勝となりました。

今回の選挙の注目点は、人気の高い小池都知事が立ち上げた希望の党に合流して闘った前原代表のグループに対して、小池代表によって排除された枝野代表の立憲民主党がどれだけ頑張るのかでした。

その結果は、政治家の信念を貫いた

選挙結果に若者は肯定的

立憲民主党が唯一議席数を大幅に伸ばし野党第一党となりました。一方希望の党は大惨敗で、今や選挙の敗北責任と独裁的体質が問われて党の分裂危機を招いています。

今回の選挙結果で注目しなければならぬのは、10代と20代の若者が与党の勝利を肯定的にとらえていることです。これが現代の若者だと云えばそれまでですが、日本の将来を考えた時には大変心配な状況だといえます。

今こそしっかり伝えよう

JR東労組は、「護憲」と「JR総連、JR東労組運動との連帯強化」を確認した37名の候補者を推薦し、その内18名の当選者を勝ち取りました。

本部OB会は、これからも平和な日本の社会を残していくために、若い組合員と話し合いながら「憲法改悪」反対の取り組みを強化していきます。

「我らの声」第19号の原稿を募集します

《募集期間》

2017年12月1日(金)から
2018年1月31日(日)まで

- ◇ ジャンル、テーマは自由ですが、一人一篇で1600字以内とします。写真を一枚付けてください
- ◇ 俳句・川柳等は、一人7句以内でお願いします
- ◇ 作品は、各地本OB会に提出して下さい

日本文化を愛したポーランド映画界の巨匠

アンジェイ・ワイダ 演劇・映画・絵コンテ展

期間 2017年12月20日(水)～24日(日)
場所 目黒区民美術館区民ギャラリー
主催 JR総連・JR東労組

入場無料

OB会の幹事と地本OB担当者で合同会議 「エルダーの組織化」で一步前進

中秋の10月4日13時より目黒さつきビルの会議室で、今年度の「JR東労組OB会幹事会・地本OB担当者合同会議」が開催され、全12地本からOB会の幹事と現役のOB担当者が参加しました。



熱心に討議する幹事とOB担当者

合同会議は大塚中執(OB会担当)の

座長で始まり、奥山副委員長と古川会長から挨拶をいただいた後、伊藤事務局長から「本部OB会定期総会以降の経過報告」と、「沖縄県民との交流」や「ブロック別3地本OB会交流」などの当面する取り組みと合わせて、「エルダーの組織化について」従来より一歩前に進めた具体的な内容の問題提起がありました。

討論では全12地本のOB担当者からと9名のOB会幹事から発言があり、エルダー希望の組合員と対応する若い組合員の「大変さ」をOB会役員も共有して、全員の「組合継続」を勝ち取るうと確認されました。

今後は今回の会議で確認された内容に踏まえて、更に本部主催の「エルダー担当者会議」で討議される予定で、今後エルダー組合員の増加によってOB会の組織強化・拡大に繋がる期待が高まった会議となりました。

バス東北OB連絡会が 第3回総会開催

9月29日13時より仙台地本会議室で20名の参加者で、「JRバス東北OB連絡会第3回定期総会」が開催されました。

定期総会には奥山本部副委員長や古川本部OB会長、バス関東OB連絡会と盛岡、仙台地本OB会の代表の他に、バス東北の議長など多彩な顔ぶれが揃いました。

総会は夏の三役会議で確認した通り、資料作りから運営まで全てOBの手で行われ、2名の発言を受けた後、組織拡大などの方針を確認して終了しました。

総会終了後は会場を移し、仙台駅前の中華料理店で懇親会を開催し、一年ぶりの再会を喜び合いながら盃を交わしました。

2017年度役員

- 会長 竹澤長一 (仙台)
- 副会長 長尾初 (青森) 村上徳男 (福島) 坂本一男 (盛岡)
- 事務長 齋藤光司 (福島)

わが町の 有名人

今月は横浜地本OB会の本川崎支部OB会の星田亮二さんを紹介いたします。

星田さんは熊本県の八代出身で、18歳で国鉄に入って田端電力区から品川電力区へ、そしてJRになって鶴見電力メセへと移り、電力畑一筋を歩み続け、退職後も東日本電気エンジニアリングと同種業務に携わり68歳で退職しました。また川崎支部OB会の結成にも関わり、「現役との協力・連携」を

TVの安倍に「喝」

ガーテン作業や南相馬のドングリ

の苗づくりに動んでいます。余暇には、近所の鶴見川などでハゼ、鯉、ウナギなどの釣りで楽しい時間を過ごしています。



自身の健康管理はサイクリングで、たまに昔の仲間と会う事も大切だとよく云っています。たばこは今も止められませんが、酒はほろ酔い程度が身体にいいと話してくれました。

星田さんは、国会のテレビ中継を必ず観ます。安倍政権に「何を、ごまかすのだ！」と

テレビに向かって抗議の声を上げるそうです。そんな、星田さんは、「9条連、どんどんど、OB会の3つが俺の生き甲斐だ」と、周りの人に話しています。

(神奈川県横浜市在住・星田亮二・71歳)

東北

9月20日から2日間の日程で、東北ブロックの3地本OB会の交流会が行われました。秋田地本横手支部OB会の準備で、「成瀬ダム見学と蔵の街増田めぐり」と銘打った交流会には、38名の会員と関係者が集まりました。

1日目は貸切バスで建設中の成瀬ダムを見学し、その後秋田県成瀬村のやまゆり温泉ホテルプランで、「成瀬ダムをストゥップさせる会」の奥州光吉代表から「成瀬ダムの現状と今後の課題」について講演を受けました。

夜は懇親会で、横手支部の委員長や書記さんも参加して交流し、その後地本OB会別に分かれて会員の親睦を深めました。

2日目は、女優の吉永小百合さんがボスターのモデルになった「蔵の街増田」を巡りました。

今回の交流会の最中に、横手地方が集中豪雨に見舞われ一部に被害も出たと報道され、周囲の人や関係者を心配させましたが、参加者は運よく一度も雨にも合わず、2日間の交流会を成功させました。

東関東

東関東ブロックの3地本交流会が、10月5日水戸地本OB会の主管で茨城県ひたちなか市の「国営ひたち海浜公園」で開催されました。当日は幸いにも晴天に恵まれ、3地本のOB会員を始め地元水戸地本の役員や支部OB担当者など90名が参加しました。

参加者は勝田駅に集合し、JRバス関東の貸切バスで30分程で会場の「海浜公園」に到着し、早速公園内にある歴史ギ

ブロック別の3地本OB会が 各地で多彩な交流会

ヤラリーで、公園が戦前日本陸軍の飛行場で戦後米軍の射撃場だったことを学びました。

その後、今の時期はコキアで、春はネモフィラで賑わうみはらしの丘を散策しました。

さらに場所を水戸地本の皆さんが準備してくれたパーベキュー会場に移し、本部古川OB会長や水戸地本長嶋書記長、栗村水戸地本OB会長の挨拶の後、盛大な交流会を開催しました。華やかな中に悲惨な過去とそれに抗う人々の闘いを知った交流会でした。

上信越

長野地本OB会の準備で上信越ブロックの3地本OB会の交流が、10月18日から2日間の日程で41名が参加して開催されました。

1日目は、松代象山地下壕、象山神社、真田邸等を見た後、宿泊地の長野市戸隠中社・民宿「りんどう」で交流会を開きました。

交流会は衆院選の話題で花が咲く中、恒例の高崎地本OB会員による舞いが披露され、交流会を盛り上げました。

2日目は小雨の中、戸隠神社の奥社までを散歩するグループと、忍びからくり屋敷に挑戦するグループに分かれて楽しみました。昼食は自分で打った戸隠ソバを食べ、善光寺を参拝した後長野野駅で解散しました。

今回の交流会は、支部OB会からの参加者が多く、特に若いエルダーの参加者も目立ちました。